

工学・医療・福祉・デザイン・社会科学系・人文科学系の
様々な分野の学生が大学を越えて共に創る！
介護ロボットアイデアチャレンジ

～テクノロジーを楽しく使い、自分らしく生きられる社会をめざして～

ロボット名

WA to EN

チーム名

D

チーム名の由来とチームの特徴

2019年6月に『グループD』として出会い、その出会った時の思い出とあるがままの姿を大切にしたいと思い、チーム名を『D』とした。

【メンバー】 拠点…相模原市相模大野

リサーチャー：リハビリテーション専攻出身3名

デザイナー：プロダクトデザイン専攻出身2名

クリエイター：ロボット・メカトロニクス専攻出身4名

チームメンバー

リサーチャー

吉原 翔太	北里大学	リハビリテーション学科 作業療法学専攻
小畑 秀天	東京医療学院大学	リハビリテーション学科 理学療法学専攻
中川 龍之介	東京医療学院大学	リハビリテーション学科 理学療法学専攻

デザイナー

瀧田 桃子	女子美術大学	デザイン・工芸工学科 プロダクトデザイン専攻
宮本 瑠華	女子美術大学	デザイン・工芸工学科 プロダクトデザイン専攻

クリエイター

中山 紘貴	神奈川工科大学	ロボット・メカトロニクス学科
小野田 朋弥	神奈川工科大学	ロボット・メカトロニクス学科
長瀬 一生	神奈川工科大学	ロボット・メカトロニクス学科
千葉 啓喜	神奈川工科大学	ロボット・メカトロニクス学科

介護現場の見学

特別養護老人ホームA

- 1日40名のデイサービス利用者、「**レクリエーション**」を重視
- 職員にとって心身的負担の強い業務は「入浴介助」「書類管理」

特別養護老人ホームB

- マッスルスーツ、見守りセンサー、リフター等の先端ロボットを導入
- 施設内は無線LANが完備、職員間は**共有ネットワーク**でつながっている

介護付き有料老人ホーム

- 賃貸マンションやクリニック等との**共有スペース**で交流ができる
- 施設コンセプトは常に「**入居者目線**」で必要以上のことは手出ししない

解決したい課題のまとめ

- 施設で生活している高齢者と自宅で生活している高齢者にとって必要としている支援機器は異なるものなのか。
- 病気をしたり施設に入所するとこれまであたりまえだった「楽しみ」ができなくなっていて、その人らしさが薄れてしまう。
- 要介護認定や施設入所によって生活習慣や関わる人が変化して、友人やご近所との関係性が途絶えてしまう。

「施設に入っちゃった」 「施設に入れちゃった」

ネガティブ ⇒ ポジティブ

ともに喜びや楽しみ合える仲間とのつながりがあれば
いつまでも元気に生活することができるのではないか！？

新規介護ロボットのテーマ

【対象者】

- ・ 介護が必要な状態にある高齢者（施設入居者・在宅生活者）

【課題】

- ・ 要介護状態や施設入所によって人との関係性が希薄になる
- ・ やりたいことができない、やらなくなることでのQOLの低下

【解決方法】

アプリ端末を介したコミュニケーションツール

- ・ 自己プロフィールから属性に合う人・場所の検索
- ・ 検索エリアについては指定範囲を設定（近所・町内・市内）
- ・ 趣味の合う人とのマッチング

【使用場所・場面】

- ・ 生活の場である位置から近隣のコミュニティを探索する
- ・ 趣味を共感し合える仲間を見つける

介護ロボットのアイデア

人と人をつなげるコミュニケーションソフト

“ **WA to EN** ” (わとえん)

WA：輪・和・話・環

EN：円・縁・園・笑

自宅や施設でも居住するエリアの中で共通の仲間を見つけることを支援するアプリケーションソフト。これによって「助け合い」を生み出し、高齢者ひとりひとりの自立（自律）を図るきっかけを創出する。

操作については本人はもちろん、家族や施設職員と一緒に行うことによって、より広いネットワークの構築が期待できる。



プロフィールデータから
共通の仲間を検索



メール・電話・出会い

介護ロボットのアピールポイント

- コンセプトは「人と人との関係性を創出すること」
→ 「喜び」や「楽しみ」などの感情は『人対物』ではなく、『人対人』の関係によって生まれることに着目した。
- 単なるマンパワーの募集ではなく、参加者が『役割』を認識できるように、イベントの趣旨や具体的な活動内容などを詳細に掲載できるようにする。
- スマートフォンやタブレットを使うこともあって、ユーザーが限定されてしまうことが懸念されるが、試験な導入から段階的にアップグレードしていくことを想定している。

ログイン



メール/電話

パスワード

ログイン

新規会員登録

会員登録

姓名

生年月日

住所

メール

病気の有無

症状

介護の有無

施設名

介護の種類

上記内容で登録

内容確認

姓名

生年月日

住所

メール

病気の有無

症状

介護の有無

施設名

介護の種類

※内容に誤りがないかご確認ください

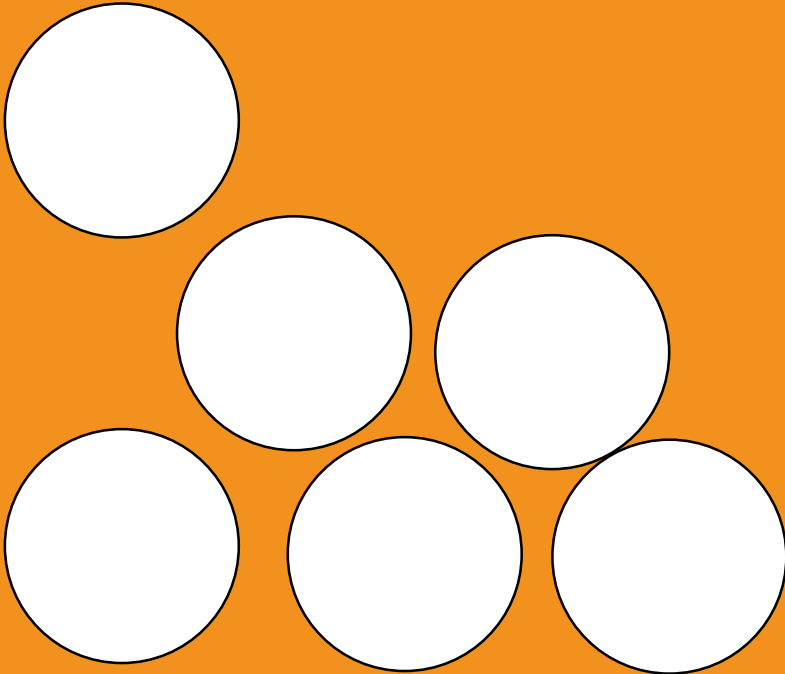
登録完了

修正する

好きなもの登録

興味のあるものを
タップして選んでいこう!

これでOK



ログイン中

○○さん

こんにちは！

イベント



困りごと



カレンダー



マップ

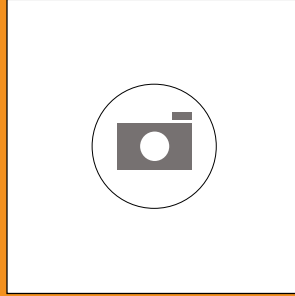


設定

設定



ホームへ
もどる



名前

生年月日

お住まい

好きなもの



ホームへ
もどる

おすすめのイベント

近くのイベント

参加するイベント



ホームへ
もどる

みんなゴル大会

日時:12/02 14:00-17:00

人数:8名ほど

場所:○公民館
(マップURL)

備考欄

トーナメント戦で行います
年齢性別不問

参加する

気になる

みんなゴル大会



ホームへ
もどる

みんなゴル大会

日時:12/02 14:00-17:00

場所:○公民館
(マップURL)

トーナメント戦で行います
年齢性別不問

連絡先:○○○○-○○-○○○○

質問する

マップ



ホームへ
もどる

近くの会場



マップ



カレンダー



12月

日	月	火	水	木	金	土
1	2 参加予定 イベント	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				



ホームへ
もどる

| よくある質問

Q.01 イベントの行われる場所が知りたいのですが

- A. ホーム→参加予定のイベント→該当イベントの「マップURL」より確認できます。マップURLが記載されていない場合は、「質問する」より主催者にお問い合わせください。



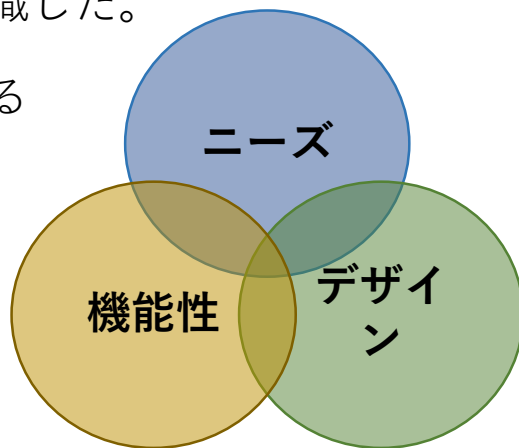
| お問い合わせ

お問い合わせ内容をこちらに入力してください

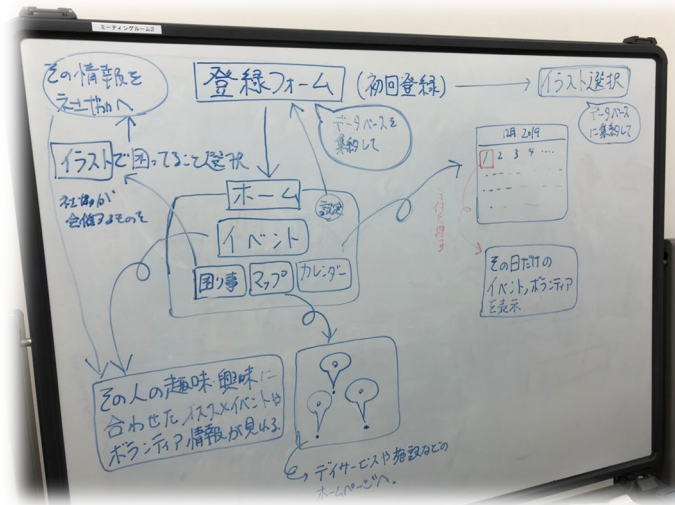
送信

事業に参加して気づいたこと

- 「難しい」と考えていたことが多分野の視点が入ることによって近道につながった。『チーム』は様々な立場の人から構成されることが良い。
- 製品づくりには、開発者の「あったらいいな」というイメージだけでは不十分で、使用対象者の声やアドバイスを組み込むことが重要であることを再認識した。
- 医療系の視点では『リスク』を想像する傾向にあるが、デザイン系や工学系は『可能性』を創造してくれる。
これらが融合することで生まれる前向きなアイデアがおもしろかった。



つながりから生まれるよろこび



みんなの思いを形に！

～誰もが笑顔で過ごせる街をつくろう～